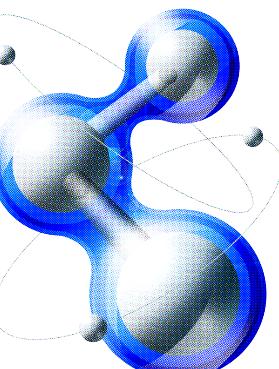


2016年(超)モノづくり部品大賞 優れた部品・部材・募集

モノづくり日本会議は「2016年(第13回)モノづくり部品大賞」の候補部品を募集している。同賞は機械、電機、自動車から生活関連製品まで、付加価値の高い優れた製品(完成品)を支える部品・部材を対象とした表彰事業。今回で13回目の実施となる。応募締切は6月30日。

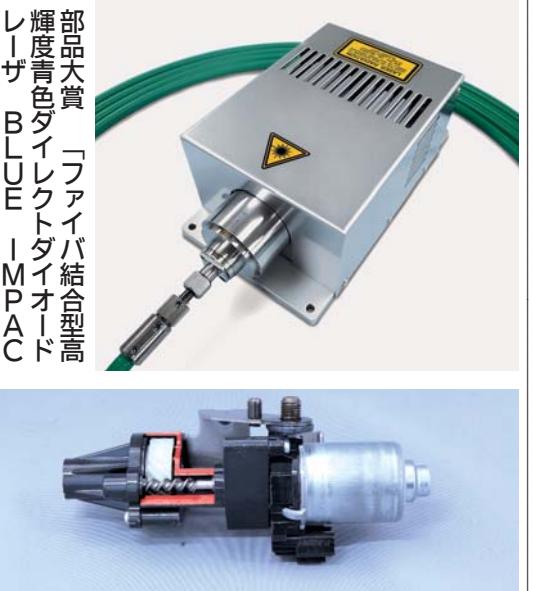


モノづくり日本会議

モノづくりへの挑戦

04年に「モノづくり部品大賞」としてスタートし、08年から現名称となり。過去12回の実施で受賞部品は累計432件に上る。問い合わせは日刊工業新聞社モノづくり日本会議事務局(03・5644・47608)。詳細は専用ホームページ(www.w.cho-monodzukuri.jp/award)。

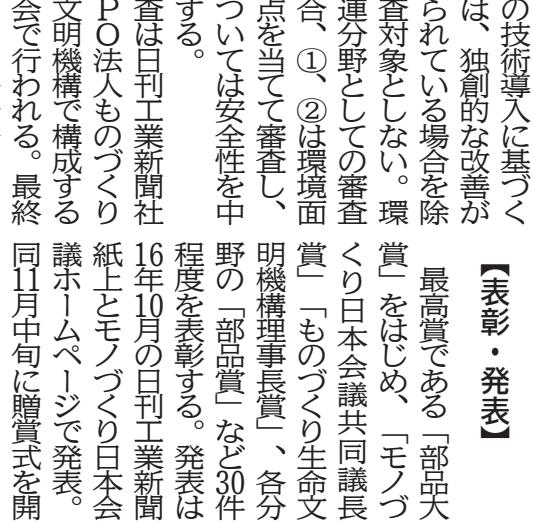
2015年(超)モノづくり部品大賞



モノづくり日本会議共同議長賞「高効率・大減速比を実現する小型アクチュエータ」(アイシン精機)



モノづくり日本会議共同議長賞「ものづくり生命文



モノづくり日本会議共同議長賞「ものづくり生命文

明機構理事長賞」、各分

野の一部品賞」など30件

心とする。

審査は日刊工業新聞社

とNPO法人ものづくり

生命文明機構構成する議

会議ホームページで発表。

審査会で行われる。最終

同11月中旬に贈賞式を開

催す。

から技術導入に基づく

ものは、独創的な改善が

加えられている場合を除

き審査対象としない。環

境関連分野としての審査

の場合は、(1)環境面

に焦点を当てて審査し、

ひ安全性への配慮」の5

研究室代表「生活関連」の

項目を中心に行う。外國

6月6日。

6分野対象

独創性・性能など評価

【対象となる要件】

著しく貢献するもの(4)産業社会の発

して立ち会う。審査アドバイザード

バイザーは稻崎一郎氏

、谷口正次

氏(資源・環境ジャーナ

リスト、京都大学大学院

特任教授「環境関連」、

赤池学氏(ユニバーサル

デザイン総合研究所所長

健康・バイオ・医療機

器、石田秀輝氏(東北

大学名譽教授、地球村研

究室代表「生活関連」の

研究者、共催する賞制度授

長「自動車」、小口泰平

氏(芝浦工業大学名譽教

授、慶應義塾大学名譽教

</div